

ふれあい
探鳥地ガイド

(創立 15 周年記念)

2001 年 6 月

ふれあい自然探鳥会

探鳥地一覧





ふれあい自然探鳥会 誕生からの足跡

- 1984 -12 県央地区での探鳥会の実施を神奈川支部に要請、逆に支部から県央地区で独自の探鳥会の実施を計画するよう提案有り、具体的に計画の検討を開始
- 1985 -03 県央地区での探鳥会実施の正式要請が神奈川支部より有り、これを受諾
- 06 「ふれあい自然探鳥会」発足
県央地区定例探鳥会を毎月第3日曜日に実施開始
- 10 会報“ふれあい”第1号発行(A5版)
- 1986 -01 県央地区定例探鳥会として、支部報“はばたき”に行事案内の掲載開始
- 1988 -08 第1回スペシャル旅行探鳥会(軽井沢)を実施
- 1989 -03 第1回新年会実施
- 1991 -03 実行委員会を県立自然保護センターで開催、以後隔月実施
- 11 実行委員会を運営委員会と改称
- 1992 -02 第1回総会実施
- 1992 -04 会計を会長から独立
- 1993 -02 編集局を会長から独立、会報をB5版に変更、内容の充実を図る
- 1993 -03 第1回山岳探鳥会(仏果山)実施
- 1994 -01 山岳探鳥会・スペシャル探鳥会参加者に行事保険付保を実施
- 06 平日探鳥会を渋沢丘陵で偶数月第2月曜日に行うことでスタート
- 07 山岳探鳥会丹沢主脈で“熊”に遭遇
- 1995 -01 ふれあい発足10周年を迎える、会報“ふれあい”第100号発行
- 05 運営委員会開催場所を、座間市立東地区文化センターに変更
- 11 会報にてリレーエッセイ「ふれあいの輪」開始
- 1997 -05 会報印刷に座間市立東地区文化センターの設備の使用開始
- 1998 -05 「ふれあい探鳥地ガイド」の作成を決定
- 11 「ふれあい探鳥地ガイド」の担当全体会議を開催、各担当決定
- 1999 -07 観察会リーダー制度発足
- 2000 -01 ふれあい発足15周年を迎える
運営委員会開催および会報印刷場所を泉の森自然観察センターへ変更
- 10 ふれあい発足15周年を記念し、カラー表紙の会報(記念号)を発行
- 2001 -01 渋沢丘陵平日探鳥会を偶数月第4木曜日に変更
相模原貯水池探鳥会を冬季(10~3月)のみ毎月第2木曜日に実施開始
- 2001 -05 山岳探鳥会第100回記念行事を高松山にて実施
- 2001 -06 「ふれあい探鳥地ガイド」発行

はじめに

このふれあい探鳥地ガイドは、いままで探鳥会を開催した探鳥地から選定し探鳥会で得た情報をもとに会員の皆様のご協力により改めて調査を行い、執筆していただいたものです。

探鳥会に多数の方が参加していただくことは、探鳥会を計画する側としてはうれしいのですが、その反面多数の人が行列して歩くことは自然に対してインパクトを与えてしまいます。

このガイドを活用することにより、小グループによる個人探鳥に出掛けていただくことにより自分のペースに合った気ままな探鳥を楽しんでいただくと共に、自然に対してインパクトの少ない観察を心掛けていただきたいという思いも込められています。

このガイドを利用するにあたって

自然の中を歩くことは危険が伴います。特に、山岳探鳥の場合はなおさらです。事前に地形図、登山ガイド等でコースを確認し、自分の体力に合ったコース設定と余裕をもった計画を立ててください。

2001年6月
発起人 倉川典夫

探鳥地ガイドの発行にあたって

平成13年6月

ふれあい自然探鳥会会長 上野宗弘

ふれあい自然探鳥会は、1985年に人と人の“ふれあい”、心と心の“ふれあい”を主眼として設立され、暖かみのある血の通った会作りをテーマに活動しております。発足当初は毎月第3週の日曜日に探鳥会を実施する事からスタートしました。その後、泊まりのスペシャル探鳥会、新年会等々の企画をし、実行委員会(現運営委員会)を立ち上げ、1989年に第一回の山岳探鳥会を実施しました。会員数はスタート当初は10名から50名と低迷していましたが、この頃を境に飛躍的に増え、運営委員も増強されました。今では行事回数も年40回を超えるまでに成長しました。

私達の“ふれあい自然探鳥会”が発足して、2000年6月に満15年になりました。会員の中から・運営委員の中から、今自分達が活動している県央地区の平地の探鳥地や山岳の探鳥地を案内する“探鳥地ガイド”を、自分達で作ろうと言う声が起こり、会員の有志と運営委員が中心になって、各シーズンに各コースを実際に歩き、コースの確認・鳥のリスト・トイレの場所・交通の便と色々な情報を確認しながら、今回15周年の記念事業として発行するはこびとなりました。

このガイドは安全を第一に考えて編集されていますが、コース状況の時間的な変化・天気の急変等は、考慮されていません。行事を企画される時は、事前に下見される事を推奨致します。また少人数で探鳥に出かけられる時は、コースに熟知した方の案内でお出かけ下さい。この“探鳥地ガイド”が、あなたに愛用されることを信じています。

探鳥地ガイド発刊に寄せて

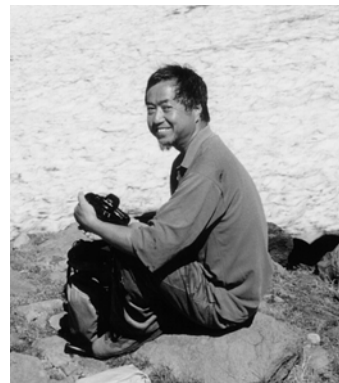
2001年3月

浜口哲一（日本野鳥の会神奈川支部長）

バードウォッチャーにとって、探鳥地ガイドは図鑑と並んで、なくてはならない本の一つです。実際に出かける時の参考になるというだけでなく、手元に置いて折りにふれて開けば、空想の中で探鳥を楽しむことができます。仕事や家事に追われてなかなかフィールドに出られない時に、ガイドのページに慰められた経験を、多くの人を持っていることでしょう。我々の仲間の手によって本書が刊行され、身近な地域についての新しいガイドを手にすることができたのは、大きな喜びとするところです。

特に、このガイドは執筆に当たられた方々が、それぞれのコースに何度も足を運び、四季のようすを取材して作られたと聞いています。鳥についてだけでなく、野山の自然を楽しむための情報が満載された内容は、きっと多くの方に愛用されるものになることでしょう。

今年もまた、ツバメが帰って来る季節を迎えました。毎年繰り返される当たり前の風景なのに、ああ、今年も無事に帰って来てくれたかと、ほっと安心したような気持ちを感じるのは、考えてみれば寂しいことです。夏鳥の減少はそれだけ深刻な事態になっています。そうした変化を正確に見つめていくためにも、身近な探鳥地に足繁く通い、記録を残していくことが重要です。このガイドが、そうした目的のためにも活用されることを期待しています。



目次

探鳥地一覧	2	25.大山三峰山	60
ふれあい自然探鳥会誕生からの足跡	4	26.大山	62
はじめに	5	27.丹沢主脈	64
探鳥地ガイドの発行にあたって	6	28.丹沢主稜	66
探鳥地ガイド発刊に寄せて	7	29.大室山	68
目次	8	30.檜洞丸	70
フィールドの仲間達	9	31.鍋割山	72
一般		32.檜岳	74
1.大和市 泉の森	12	33.高松山	76
2.座間市谷戸山公園	14	34.畦ヶ丸	78
3.相模原 貯水池	16	35.菰釣山	80
4.相模川 磯部の堰	18	36.不老山	82
5.海老名市 勝瀬	20	37.三国山	84
6.相模川中流	22	山岳（箱根）	
7.高尾山	24	38.矢倉岳	86
8.城山湖	26	39.明神ヶ岳	88
9.八菅山いこいの森	28	40.神山	90
10.宮が瀬湖	30	41.浅間山	92
11.谷太郎林道	32	42.湯河原 幕山	94
12.丹沢 札掛	34	43.湯河原 城山・幕山	96
13.日向林道	36	山岳（中央本線沿線）	
14.大山阿夫利神社	38	44.陣馬山	98
15.高麗山・花水川	40	45.石老山	100
16.弘法山公園	42	46.扇山と大野貯水池	102
17.渋沢丘陵	44	47.高畑山から倉岳山	104
18.寄	46	48.百蔵山	106
19.酒匂川中流	48	49.笹子峠	108
20.丹沢湖	50	私のフィールド	
21.21世紀の森	52	50.横浜 自然観察の森	110
22.箱根 仙石原	54	51.三浦富士・武山	112
山岳（丹沢）		52.町田市 かしの木山自然公園	114
24.仏果山・経ヶ岳	56	執筆者	116
23.辺室山	58	交通機関問い合わせ先	117